

誠鶴京城支店を開店す  
仁川龍岡町 深見 醸造場

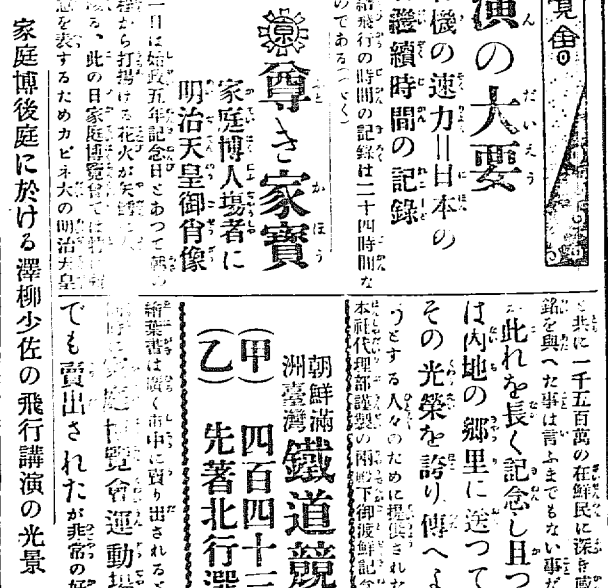






開院宮兩殿下の御渡鮮は榮ある  
五年共進會に一層その光輝を添

七名江華普通學校の三十一名、陝川郡中なるも甚だしき被害はあらざるの七十六名、開城の二十六名等であつた。



たが午後四時頃、満鐵鐵道中村駅に於て男理事改野耕三、川上俊彦兩氏並に上田秘書役の一行は千代本の女將代を案内に立て、來觀、社員のお蔭で各語を仔細に一時間以上もかつて巡覽した。改野理事と言ひ、上田理事と言ひ上田秘書役と言ひ千代本の女將と言ひ暇かな連中揃ひの

走先著日時  
時間四十分

とて各室毎に盛んな相評が出たが、中村鐵道は堀内の諸般の整頓し居り、清潔な中に感心してゐた。中村鐵道と言ふは家庭鐵道に最近に於て男中村は公氏の満鐵鐵道に於て後を以て之れで野村龍太郎氏の入城

國造のサラ紙は原料を内地品に  
を以て一般洋紙類の如く外國よ  
料を受るものとは其趣を異にし

●に絶海の長脇  
く不勞の觀に推移しつつありし白  
油は前月來人氣一軌好勢に向ひ昂

●釜山(三十日の穀物)  
▲正米(保合) 廻響米は依然として

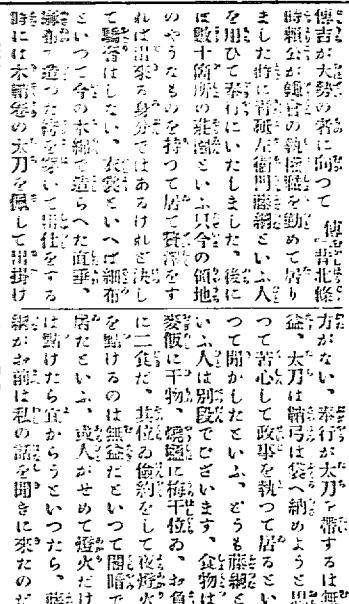
白米銀賣仙  
十二圓

...



第七十席

浪桃  
上川  
錢如  
三郎  
速口  
記寅

[illegible][illegible]

特色實證

されば常に御園化粧品を専用する人は、土臺の地肌を作る上に、白粉は濃淡自在思ひの儘に伸び、眞の雪白に見ゆるを計り、美しき粧ひを長く保ち得る事、實に本雅唯一優良完全の定評に背かざるもの、其技能の質點は、一代を唯以て美容を授けざるの特長あり、即ち御園化粧品と御園白粉との專用に依つて作られた美しさは、滑らかな粧を化粧板に現はす事の出来る、他に比擬の無い最大特色があります。

完全な化粧は完全な化粧料より成る。其完全なる化粧料とは、如何なる結果あるものを指すかと云へば、常に肌膚を蓋ひ、肌理を整へ、殊に白粉の完備としては、地肌を透して美しき生肌を現はすに在ります。以上の効能は畏くも御料の雲霧を荷ふて立つ、御晚白粉及御園化粧品の一式に於て始めて完全に確實なる偉大の奏効あり。斯く風に化粧界第一の模範品として、實價本位の眞價認められて居ります。

[illegible]

燈火親しむべきの候

夜を日に次いで冬の仕度(しど)に忙(いそ)しき秋(あき)の婦人(ふじん)  
多忙(たぼう)に取(と)り盡(つく)され油斷(ゆだん)したため  
□夕(ゆふ)の冷氣(れいき)が因(よ)て婦人病(ふじんびょう)に惱(こ)む事(こと)あれば  
轉(ころ)ばぬ先の杖(つゑ)だのみ

何なにより大だい事じ

肥に  
就しなべきの  
候

本館に於て毎月一  
回、  
詳しく申込あれ  
一週四分 七十五銭  
二週五分 二週五十銭



Illustration of a woman in a kimono sitting and reading a book. A large lamp is positioned above her, casting light. In the bottom left corner, there is a small circular inset showing a portrait of a woman. Below the illustration, there is a small rectangular box containing the text '肥に'.

主治効能

|      |      |
|------|------|
| 子宮病  | 血の道  |
| 婦人血氣 | 氣不足  |
| 連日肝痛 | 血痛   |
| 夜間腹痛 | 内服   |
| 下腹腫痛 | 腰は冷た |
| 産前産後 | つばり  |
| 月経滞り | 月経痛  |
|      | 血をとり |

● 此藥は、世界各國到處の  
藥房に賣れてゐる

定價

|      |      |
|------|------|
| 一四日分 | 二角二分 |
| 一週五分 | 三角五分 |
| 一箇月分 | 五角五分 |

電話日本橋區千代田  
津田順天堂本館  
電話日本橋區千代田  
津田順天堂支店  
電話日本橋區千代田

製造元とのやくそくだ  
砂糖、麥粉、糞、金市、燐寸、石油、洋蠟  
燭釜、紙、寢物、鐘詰、ビール、サイダ  
ー、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其  
他の日鮮人向雜貨食料品

**大河おしろい店**  
仁川本町  
**河野本店**  
電話二八〇番  
坂城宮一三番

◎保險案内の御請求を乞ふ

◎**太平生命保險株式會社**

京 城 支 部

(京城黄金町二丁目)  
電話一〇二九







列強大戰

ニカ新上陸

諸地占領

獨帝西行

勃王親電

塞へ進軍

波羅的方面

獨軍失敗承認

入城補案

鐵道祝賀式出席者

釜山通過客

赤愛總會

共進會開會式

鮮牛移入に就

仁川八月晒金

赤愛總會

鮮牛移入に就

仁川八月晒金

赤愛總會

鮮牛移入に就

仁川八月晒金

赤愛總會

鮮牛移入に就

仁川八月晒金

全體の不足額は一千四百餘萬圓にして大體の像...

ニカ新上陸 優勢なる聯合軍...

諸地占領 占領しロントの南方に於ても...

獨帝西行 獨帝は二十八日午後...

勃王親電 勃王は二十日...

塞へ進軍 獨軍は塞に於て...

波羅的方面 獨軍は波羅的方面...

獨軍失敗承認 獨軍は...

入城補案 入城補案...

鐵道祝賀式出席者...

釜山通過客...

赤愛總會...

共進會開會式...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

釜山通過客...

赤愛總會...

共進會開會式...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

釜山通過客...

赤愛總會...

共進會開會式...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

釜山通過客...

赤愛總會...

共進會開會式...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

釜山通過客...

赤愛總會...

共進會開會式...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

釜山通過客...

赤愛總會...

共進會開會式...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

釜山通過客...

赤愛總會...

共進會開會式...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

釜山通過客...

赤愛總會...

共進會開會式...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...

鮮牛移入に就...

仁川八月晒金...

赤愛總會...



詳細なる御觀察に供奉員感激す

A black and white photograph of a large, multi-story building, likely a hotel or casino, with a prominent central tower and a string of lights draped across the roof. A large crowd of people is gathered in front of the building, and a circular inset in the bottom right corner shows a close-up of a person's face.

開會式當日の夜大提灯行列の盛

[illegible]

つゞき融を接し雪崩を打つて  
馳せ参する者數を知らず  
午後六時頃に至りてはさしにも廣  
本社前の大廣場も押すところの大  
先、押ねて定めの場所には本社各  
の大連を知らぬとして朝野料理  
館、新義成生組合、寶藥組合等の  
大提灯行列團總督

大提灯行列團總督官邸前に萬歳を叫ぶ

A black and white photograph showing a large crowd of people gathered in front of a multi-story building. Many individuals in the crowd are holding up white flowers or balloons, creating a dense field of white. The building in the background has several windows and a balcony. The image is framed by a thick black border.

當夜の提灯行列に美し

背骨即削でなまめかしい「萬籟」をその  
 高唱したのは又一入の御愛嬌のもので  
 あつた。  
 △猶ほ愛嬌者には家庭博士大行燈を贈  
 いた本社、の朝鮮人夫が始終朝鮮婦  
 に合せて踊り歩いたのも面白かつた。  
 △次には日韓印刷の一寸法師と大男

八千の小國民の赤誠を御嘉納あらせら

先遣官御式日の夜、開院宮殿下  
の御祭席に至りて既賓の萬歳を奉唱  
し、案案ある此夜を記念す可し、京畿各  
縣では大覺が自叙を聞罷した午後  
六時、宿中の笛に導罷、初むる由よ  
り集合所たる

△龍山練兵場 には赤日染み  
けの小提灯を手にする各、生徒は教  
職員に引率されつゝ、軍歌の聲  
も勇ましく續々、参集し

七時半、軍にはあしもに廣く練兵場も  
溢るゝ誇りの人波を打ち懸て、八時と

は肅むる歩調、静かに正門を入り、廣  
庭に七、八陣に分列すれば、此時、兩宮  
殿下には、良くも寺内總  
督、其他の諸員を隨へさ  
ざられ、階上の露臺に出  
御あり、皇威を賜はれば、各陣より  
提灯高く擡げて、天にも響けと、絶叫す

天皇陛下萬歲、萬歲、宮殿下  
萬歲の聲に、莞爾として

御會釋あり、斯く各陣は

本日こんにちも引續ひきつづき始政しせい五年ごねん記念きねんの祝意しゆいを

明<sup>めい</sup>治<sup>ち</sup>天<sup>てん</sup>皇<sup>わう</sup>記<sup>き</sup>念<sup>ねん</sup>御<sup>ご</sup>繪<sup>えい</sup>葉<sup>えふ</sup>書<sup>しよ</sup> 二<sup>ふた</sup>葉<sup>えふ</sup>一<sup>いつ</sup>組<sup>ぐみ</sup>  
 何<sup>なん</sup>れも本<sup>ほん</sup>社<sup>しゃ</sup>にて謹<sup>きん</sup>製<sup>せい</sup>無<sup>む</sup>料<sup>りょう</sup>にて一<sup>いつ</sup>組<sup>ぐみ</sup>宛<sup>えん</sup>御<sup>ご</sup>頒<sup>はん</sup>配<sup>はい</sup>致<sup>いた</sup>し  
 りあり先<sup>さき</sup>著<sup>しやく</sup>順<sup>じゆん</sup>に三<sup>さん</sup>千<sup>せん</sup>組<sup>ぐみ</sup>と御<sup>ご</sup>承<sup>しょう</sup>知<sup>ち</sup>ありたし  
 本<sup>ほん</sup>日<sup>にち</sup>の夜<sup>や</sup>間<sup>かん</sup>は別<sup>べつ</sup>に珍<sup>めづ</sup>趣<sup>しゆ</sup>向<sup>かう</sup>がありま

夜間  
本日の夜間には別に珍趣向があります。

願序を以て陛下の御旅館指して連  
 發した  
 ▲京都中學校 ▲京城普通修學校 ▲工  
 學講習所 ▲東京高等普通修學校 ▲工  
 業傳習所 ▲東京協會京城分枝 ▲苦  
 練商業學校 ▲修正公立普通修學校 ▲  
 公立小學校七校 ▲公立普通修學十校  
 ▲私立小學校三十八校  
 斯くて本學校は昨年五年に普通修學  
 校は三年半以上の學年生徒で其他中  
 等高等の各級生徒の大集團は打續く  
 燈の波なして歌聲滿らかに新龍山元  
 町の街路を練り行き御旅館前に至れ  
 なかつた

▲御旅館裏門 より軍司令部  
 城内を経て電氣通りに出で隨意に歸  
 校したのは午後九時半頃であつた因  
 みに同夜は總督府學校課では可憐課  
 長小杉親善の講話は繼出して發演し參  
 加講話は之を高中中學校長岡高等普通學  
 校長以下各級長職員等の全體を數へ  
 た餘無き所を龍山小學校の兵馬場の  
 二階所に設けて校旗が出張し速急に  
 備へたが幸に一名の落伍發病者も  
 なかつた

本願寺と共進會 本派本願寺に  
 は共進會團體の爲め同派朝鮮各地  
 布教師を招き十三日より十七日迄  
 日間記念大會傳道會を開催し毎夜各  
 由の講演あり一般の參會を歡迎し  
 教師の諸君等共進會體を歡迎し  
 敬道を計畫中なるがクラブ化紙品  
 唐山山太一氏は大に其業を賛し最  
 敬表と題する小冊子日文三萬部鮮  
 三萬部の印刷製本費全部を本願寺  
 寄附したりと

今日の日藝藝館  
 八時入場 八時入場

提灯行列に參加せし妓生團

都大興博覽會は一日より開

積三萬坪經費三十五萬餘圓大典も  
餘の後となり京都の賑ひも是から  
(大阪特電)

二日 演題

▲南部坂雪の別れ  
▲兩國橋の勢揃ひ  
午後五時開演 有樂館

府下鞍馬山下の教育家として

れし野中ノナカ小泉コイズミ校長ケイリョウ川尻カワシロ藤三フジサ郎ラウ在職ザイシキ除年ジョネン功績コウシキ顯著シヨウシヤクにて叙勳シヨウコンされたり身ミ四尺シヤクに足らぬ一寸坊子イチポンボウシにて無妻主ムサイヌ者なり（大段待庵）

但し數に限

知ありなし  
別に珍趣向があります

由、尙同本願寺は共進會記念文

傳道を計畫中なるがクヲフ化報局  
 店中山太一氏は大に其衆を賛し、  
 教義と題する小冊子日文三萬部、  
 三萬部の印刷製本費全部を本願寺  
 寄附したりと

九江、よし子、貞丈、百吉、靜奴、政菊、國之助、  
君春、梅香、たま、一子、ちえ子、秀丸、つぼみ

▲殿外散舞 元花紅 李桂香 金銀瓶 茨蘂香  
 ▲原來散舞 元花紅 李桂香 金銀瓶 茨蘂香  
 秋月 金玉堂 金蘭月 菱花仙  
 ▲長生寶宴之舞 蓮玉花 金月仙 蓮嬌  
 吳若蘭  
 ▲雙劍舞 金寶酥 李月仙 李桂蘭 杜昭月  
 夜の部  
 ▲獻天花舞 元花紅 李蘭香 張瑞珍  
 ▲四仙舞 李湘蘭 李桂香 朱晚仙  
 ▲春鶯舞 金明玉 金錦蓮  
 ▲舞山香 伊賀月 泉榮珠  
 ▲雙劍舞 伊賀月

小兒科専門 若槻醫院  
京城旭町三丁目(元十全病院跡)  
内科  
電話二四六三三  
ドクトル 若槻寛隆  
メヂチーネ

天然葡萄酒とは混成酒にあらずるの美稱にして貧血虛弱者並に婦人産前産後の營養料として全國の各病院大藥の常用を蒙る生葡萄酒也

白札銀線金線、紺社、冠印、金札、六種共全國の信用ある藥舖和洋酒店並に洋物店に賣御最寄りにて御購求奉願上候

發賣元 東京市京橋區錦町 振寄口座榮七五八番

長井越作

關西代理店 大阪東區道修町 藥種商田邊五兵衛

電話本局六六一

平壤市民の樂園瑞氣山を背景とし  
四季の眺望佳絶、閑靜にして設備完全  
朝鮮總督府  
御指定旅館  
平壤山手町  
柳屋旅館

東 京 竹 内 製 金 庫 上  
實 なる げに 世に 定評 する

◎金庫を使用せざる人は  
財寶を貴ばざる人なり

特約販賣店  
和洋金物商

藤次郎本店  
藤釘本

京 城 本 町 二 丁目  
電 話 四 五 四 五  
振替貯金 東京 二五六 〇

○御申度次第目録進呈す○

長電話二〇六番

當銀行は普通銀行業務を確實親切に御取扱申候  
 支店  
 開城 春川 江景  
 太田 忠州 龍山  
 清州 鐵原  
 株式 會社  
 京城南大門西二百  
 漢湖農工銀行  
 資本金 壹百萬圓  
 政府貸下金 三十二萬九千二百圓  
 農工債券發行高 百參拾萬圓  
 銀行長 白 完  
 支配人 遠山 照熾



仁川切符發賣所 大阪商船會社 增支店  
電話 三三二〇 至 五五〇  
京城切符發賣所 內國通運會社 支店  
電話 七八〇 至 八八〇  
河村運送店  
電話 二四四七 至 二四四八  
元山代客店  
電話 二八二〇 至 二八二一  
市內代客店  
電話 二八二〇 至 二八二一  
京阪飯店